

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 令和5年度重点課題

1 会員入会促進の実施

(1) 会員紹介会費優待制度の導入

会員が友人、知人を紹介し入会まで至った場合、紹介した会員は、次年度の会費が1,000円割引となり、紹介されて入会した方も会費を登録時に1,000円割引する制度を導入し会員の入会促進を図った。

(2) 夫婦会員会費優待制度の導入

夫婦同時に入会した場合は、その年度以降夫婦で登録している期間は会費を1,000円割引し、すでに夫婦で会員登録している会員も申請書を提出すれば、次年度以降それぞれ1,000円を割引する制度を導入し、会員の入会促進を図った。

2 インボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応

10月1日より導入されたインボイス制度について、定時総会時において会員に説明しこの制度の理解求めた。また、時期を変え全会員に対し、説明チラシによる周知も併せ行った。

3 KY活動（危険予知活動）による交通事故防止対策の推進

交通事故防止対策でのKY活動（危険予知活動）を会員に浸透させるため以下の事業を行い、推進を図った。

(1) 就業会員に対し、「KY活動による交通事故防止」の安全講習会を実施し交通事故防止に努めた。

(2) 安全だより（4・5・6・7・12・1・2・3月）にKY活動を含めた交通安全注意喚起の記事を載せて、事故防止に努めた。

II 事業実施報告

1 情報の収集及び提供

(1) 会報「あきるの」（年3回）を、町内会・自治会等を通じ回覧し、センター事業に関する情報の提供を行った。

(2) センター主催の「ふれあい祭り」を開催し、相談コーナーを設けセンター事業に関する情報提供を行った。

(3) 市の協力を得て「市広報紙」に、会員募集並びに刃物研ぎ等の事業を掲載し、広く市民に情報の提供を行った。

(4) 市主催による「産業祭」に参加、ブース内に相談コーナーを設けセンター事業の情報の提供を行った。また、理事・会員による会員募集・就業開拓チラシ等を配布した。

(5) 広報委員会により会員募集用チラシを作成し、新聞折り込みにて配布した。

(6) 市内巡回バスの車体3面に会員募集の広告を設置し周知を図った。

(7) 秋川駅上り線ホームに会員募集看板を設置し周知を図った。

(8) 植木の受注状況等をホームページに掲載し周知を図った。

(9) センター事業に関する財団の各種会議に参加。また、財団発行の「シルバーとうきょう」、(公社)全国シルバー人材センター事業協会発行の「月刊シルバー人材センター」等を通じて情報の収集に努めた。

2 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため、会員及び高齢者の就業並びにシルバー組織の充実を図るため次の調査研究を行った。

- (1) 毎月の理事会において会員の入退会状況及び就業実績を分析し、今後の運営の検討を行った。
- (2) 会員の技能の能力等を把握するため、入会時に技能能力の確認を行った。
- (3) 家事援助希望者に対し就業意向調査を実施した。
- (4) 請求書発行時に発注者に対しアンケート調査を実施（別添参考資料）、その内容を分析・調査し、就業等のサービス向上に努めた。

3 就業に関する相談

随時、窓口・電話対応にて市民に対し就業相談等を受け付け、会員の登録を希望する高齢者に対しては、事務所にて随時情報提供を行った。

また、毎月第2、第4月曜日には会員に対し就業相談日を設け、随時相談を受け付けた。

4 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供を図るため、官公庁・企業、事業所及び一般家庭に対し高齢者就業の理解を求め、就業機会の開拓及び提供を積極的に行った。

(1) 就業の開拓について

- ①会報「あきるの」を町内会・自治会に回覧し就業機会の開拓に努めた。
- ②市主催の産業祭に参加し就業開拓チラシを配布した。
- ③理事、職群班の各リーダー、地区委員に協力を願い、ポスティングによる就業募集チラシの配布を行った。
- ④13か所の公共施設、スーパー等に就業募集チラシの布置をお願いし就業機会の開拓を図った。
- ⑤理事により継続就業している企業等（31か所）に訪問し、就業の開拓を図った。
- ⑥就業開拓委員により、保育施設並びに不動産会社（43か所）に訪問し就業開拓に努めた。
- ⑦新聞折り込み（17, 150件）による就業開拓を実施した。
- ⑧あきる野市に対しては会長、副会長、常務理事（事務局長）が、市長と面談し、シルバー事業に対するより一層の理解と協力をお願いし、公共事業の新規就業の開拓に努めた。

(2) 就業の提供について

提供については、就業会員の増員を図るためローテーション制を促進。分かち合いによる公共継続就業の交代を積極的に行い、未就業会員に対して就業機会の提供に努めた。

(令和5年度実績)

| | 年度末 会員数 | 就 業 実人員 | 就 業 率 | 受注件数 | 延日人員 (月平均) | 契約金額 (単位：円) |
|-------|------------|------------|-------|--------|-------------------|----------------|
| 令和5年度 | 566 | 493 | 87.1% | 1,461 | 48,983 (4,081) | 249,192,579 |
| 令和4年度 | 565 | 503 | 89.0% | 1,769 | 51,209 (4,267) | 256,216,777 |
| 増 減 | 1 | △10 | △1.9% | △308 | △2,226 | △7,024,198 |
| 増減率 | 0.2% | △2.0% | △2.1% | △17.4% | △4.3% | △2.7% |

※令和5年度派遣事業実績

| | 受注 件数 | 実人員 | 延日人員 | 賃 金 | 派遣手数料 (消費税含 む) | (内センター 派遣手数料) | 合 計 |
|-------|----------|--------|--------|-----------|----------------------|------------------|-----------|
| 令和5年度 | 5 | 8 | 454 | 3,194,100 | 1,080,291 | 503,947 | 4,274,391 |
| 令和4年度 | 8 | 15 | 558 | 3,580,112 | 1,150,150 | 540,733 | 4,730,262 |
| 増 減 | △3 | △7 | △104 | △386,012 | △69,859 | △36,786 | △455,871 |
| 増減率 | △37.5% | △46.7% | △18.6% | △10.8% | △6.1% | △6.9% | △9.6% |

5 研修・講習

(1) 事業関係研修・講習(財団・安全講習会含む)

| 研修内容(講師) | 対 象 者 | 開 催 日 | 場 所 | 参加人数 |
|-------------------------------------|-------------------|------------------------------|----------------------|------------|
| 小学校児童通学案内研修 (福生警察・五日市警察) | 小学校児童通学案内 就業会員 | 令和5年4月4日(火) 令和5年4月5日(水) | ふれあいホール 五日市交流センター | 47名 11名 |
| 草刈研修 (内部講師) | 草刈機使用就業会員 | 令和5年5月23日(火) 令和5年5月30日(火) | 中央公園 | 30名 40名 |
| 自動車運転講習会 (飛鳥ドライビングカレッジ) | 自動車運転派遣会員 | 令和5年6月21日(水) 令和6年2月22日(木) | 飛鳥ドライビング スクール日野校 | 1名 1名 |
| チェーンソー研修 (橋本機械) | チェーンソー使用 就業会員 | 令和5年8月8日(火) | 中央公園 | 16名 |
| 接遇研修 (アップグロース) | 新入会員 | 令和5年10月2日(月) 令和5年10月5日(木) | 中央公民館音楽室 | 28名 25名 |
| 自転車安全利用講習会 (東京しごと財団) | 会 員 | 令和5年11月7日(火) | 住友不動産 飯田橋駅前ビル | 1名 |
| 「KY活動の実施による 交通事故防止」 (東京しごと財団) | 就業会員 | 令和5年11月16日(木) | ふれあいホール | 98名 |
| プロが教える 「掃除のコツ」体験講習会 (東京しごと財団) | 60歳以上市民 | 令和5年11月21日(火) | センター会議室 | 9名 |
| 女性会員講習会 「栄養と健康講座」 (管理栄養士) | 女性会員 | 令和5年11月28日(火) | ふれあいセンター 会議室 | 16名 |

| | | | | |
|--|---------------|------------------------------|---------------------------|------------|
| 家事援助研修 (フジエンタープライズ) | 家事援助就業会員 | 令和5年12月6日(水) | 中央公民館 実習室 | 16名 |
| 転倒予防講習会 (はつらつセンター) | 80歳以上就業会員 | 令和6年1月19日(金) 令和6年1月23日(火) | 中央公民館 音楽室 五日市交流センター研修室 | 29名 9名 |
| 植木研修 (渡邊植木) | 植木就業会員 | 令和6年2月8日(木) | センター敷地内 | 4名 |
| 刈払機による飛び 石事故防止講習 (東京しごと財団) | 草刈班リーダー会員 | 令和6年2月27日(火) | 三多摩労働会館 | 2名 |
| 交通安全講習会 (福生警察・五日市警察) | 就業会員 | 令和6年3月7日(木) 令和6年3月13日(水) | ふれあいホール まほろばホール | 72名 33名 |
| 女性市民向け講演会 「楽しく運動習慣を 身につけよう」 (ピーアウエイク) | 60歳以上 女性市民 | 令和6年3月21日(木) | あきる野ルピア 集会室 | 32名 |

(2) 会員研修・講習

新入会員フォローアップ研修は、新型コロナウイルス感染症のため中止し、研修資料を渡し対応した。

(3) 役員研修等

| 研修内容(講師) | 対象者 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|---|----------|--------------|-------------------|------|
| 安全リーダー研修 〔東京しごと財団〕 〔専門講師〕 | 安全就業リーダー | 令和5年7月25日(火) | 三多摩労働会館 | 1名 |
| 安全リーダー研修 「一人KY活動の進め方」 〔東京しごと財団〕 〔専門講師〕 | 安全就業リーダー | 令和6年3月12日(火) | 五日市ファインプラザ 研修室 | 20名 |

(4) 第6ブロック役員研修

| 研修内容（講師） | 対象者 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|--|----------------|--------------|----------------------|------|
| 第6ブロック 安全就業研修 【東京しごと財団 専門講師】 | 安全管理委員 | 令和5年9月5日（火） | 福生市民会館 | 4名 |
| 6ブロック三役研修 「シルバー人材センター の原点と展望」 城西大学 塚本成美教授 | 会長・副会長 常務理事 | 令和6年2月15日（木） | 立川市シルバー人材 センター会議室 | 3名 |

6 その他事業

(1) 安全就業対策の推進

安全については、積み重ねてきた対策は確実に実行し、新たな安全対策を講じ「会員事故ゼロ」を目標に次の事業を行った。

【安全管理体制の確立】

- ①安全管理委員会を8回開催し、安全管理活動実施計画に基づき安全管理体制の確立を図った。また、内2回は早急に対策を講じなければならない事故が発生したため緊急に会議を開催し事故の対策及び防止の検討を行った。
- ②財団及び第6ブロックシルバー人材センターとの情報交換を行い安全就業の連携を図った。

【事故防止措置】

- ①作業別安全就業基準の周知徹底に努め、事故の状況等を考慮し作業別安全基準及び自動車使用要綱の見直しを行った。
- ②新入会員のフォローアップ研修の資料を渡す際に「安全のしおり」を活用し、安全就業の周知を図った。
- ③就業前に安全保護具の着用と用具の安全点検を励行した。
- ④安全就業基準に則り、センターで管理している就業用具、安全保護具等の安全点検を毎月実施した。また、その用具等の廃棄基準の検討を行った。
- ⑤ ア 令和4年度に交通事故が多発したため、安全便りにより交通事故の注意喚起の記事を掲載した。
イ 就業会員を対象に「KY活動の実施による交通事故防止」というテーマ研修会を実施、交通事故の防止に努めた。
ウ 安全就業リーダー会議は、重点課題を説明し、「安全就業基準の徹底」、「交通事故防止」について説明を行い、事故防止を徹底するように指導した。
エ 交通事故防止の徹底を図ることを目的に、就業会員を対象に交通安全講習会を実施した。
- ⑥安全便りにより自転車保険加入促進を行った。
- ⑦自転車乗車時のヘルメット着用について、安全便りにより周知を図った。
- ⑧安全就業リーダー（職群班長）に対し「一人KY活動の進め方」研修を実施した。また、この研修の内容を担当会員に安全リーダーより周知した。
- ⑨事故の撲滅を図るため、事故の「現場検証」、「聞き取り調査」を実施し、事故分析・対策を検討。事故の再発防止に努めた。

⑩熱中症対策として、屋外作業就業会員に対し「熱中症指数計」を貸与し、発注者に熱中症対策の協力依頼の文書を送付した。また、熱中症警戒アラートが発令された際には、会員に対し注意喚起を行った。

植木班については7月21日から8月末まで就業休止。草刈、除草班については、7月21日から8月末まで午前中での就業の対策を行った。

⑪転倒事故防止対策のため、80歳以上就業会員を対象に転倒予防講習会を実施した。

【健康管理】

①会員の健康維持のため作業前の準備体操の奨励を行った。

②会員の健康管理として、市で実施する市民健康診査並びに東海大学八王子病院健康管理センターとの連携による人間ドックの受診を積極的に呼びかけ、会員自らの健康管理の重要性を周知した。

③会員の個人別安全確認報告書を作成し毎日自分の体調等をチェックさせ健康管理維持の励行を行った。

【安全管理教育】

①各種技能講習の実施に際し、安全管理委員による安全就業講習を実施した。

②安全就業適正巡回パトロール（12回）を実施し、就業現場での安全教育を行った。

③安全就業適正巡回パトロールに合わせ植木特別安全就業巡回パトロール（6回）を実施。また、飛び石による事故が続いたため、8月以降より草刈班への巡回も行った。

④安全就業リーダー教育として「一人KY活動の進め方」の研修会を実施した。

⑤就業会員に対し交通安全講習会を実施し事故防止に努めた。

【安全意識の普及啓発】

①「安全便り」を毎月発行し、安全意識の啓蒙に努めた。

②安全就業適正巡回パトロールに際し、会員証・緊急連絡カードの携帯の促進を行った。また、「安全便り」にも掲載し周知した。

③毎月、月初に安全朝礼を実施した。4月、7月、11月を安全就業強化月間に定め安全意識の高揚に努めた。また、「271120安全朝礼」を1回開催し、より一層の安全意識高揚に努めた。

④荒天時等の際に、SMS（ショートメッセージ）で注意喚起を行った。

⑤就業会員を対象に、安全就業が実施されているかを確認できる「個人別安全確認報告書」を渡し、就業した日の安全と体調管理に対する意識高揚に努めた。

⑤安全意識の高揚のためテーマごとに安全標語の募集を行った。安全標語はテーマ1が「自転車事故防止」7名14作品、テーマ2が「就業時の事故防止」7名19作品の応募があった。また、「ヒヤリハット」の募集を随時行った。

【評価改善】

①第6回安全管理委員会に於いて、令和5年度の事業報告を行い、評価と次年度に向けての改善の検討を行った。

(2) 就業適正化の推進

①就業の適正・公平・安全を確保し、全ての会員が能力に応じて分かち合いの精神のもと、公平に働く機会を得られるように長期就業の適正化について理事会で検討した。その結果、公共の契約を中心に10契約19名の交代者を決定。未就業会員並びに継続的な就業に就いていない会員205名に対し就業募集案内を通知した。この募集による就業希望者は24名であった。公平な選考を図るため、理事により希望者に対し面接を行い、理事会において選考し新規事業者の決定を行った。

80歳以上就業会員の安全就業に対する面談を理事が実施し、103名の会員に対し健康面を含め安全就業の確認を行った。

(3) 女性委員会活動

女性会員の活性化並びに増強を図るため以下の活動を行った。

① 女性委員会の活動状況をセンター「会報」に掲載。女性委員会通信（年4回）を発行し活動の周知を図った。

② 女性委員会活動報告

| 活動内容 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|---|---------------|-------------------|------|
| 会員交流会 (食事会) | 令和5年5月26日(金) | 割烹 佐五兵衛 | 29名 |
| 会員講習会 「栄養と健康講座」 | 令和5年11月28日(火) | 秋川ふれあいセンター 会議室 | 18名 |
| 60歳以上女性 市民向け講演会 「久野先生と楽しく運動 習慣を身につけよう」 (beer awake) | 令和6年3月21日(木) | あきる野ルビア3階 集会室 | 32名 |
| ソーイングクラブ 「ひまわり」 | 毎週2回(月・木曜日) | センター作業場 | 17名 |
| カルチャー教室 (編み物教室) | 毎週1回(火曜日) | センター作業場 | 11名 |
| カルチャー教室 (健康体操教室) | 毎週1回(水曜日) | 秋留台公園 | 10名 |

※女性委員会主催のボランティア活動は下記(4)に記載。

(4) 社会奉仕活動

地域社会において健康に働けることを感謝し、また、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために以下の社会奉仕活動を行った。

| 活動内容 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|-----------------------------|-------------------------------|--|------------|
| 社会奉仕デー | 令和5年5月16日(火) | あきる野市役所・秋川駅周辺 武蔵五日市駅周辺・武蔵増戸駅 森の下公園 | 73名 |
| 女性委員会主催 除草ボランティア | 令和5年6月5日(月) | センター事務所敷地内 | 36名 |
| 事業委員会主催 除草ボランティア | 令和5年9月11日(月) 令和5年10月10日(火) | センター事務所敷地内 | 26名 18名 |
| 女性委員会主催 福祉施設 除草ボランティア | 令和5年10月24日(火) | こもれびの郷 | 14名 |

| 地区ボランティア | | | |
|----------|---------------|----------------------------|-----|
| 第1地区 | 令和5年10月22日(日) | 中央公民館・ふれあいセンター周辺 | 30名 |
| 第2地区 | 令和5年11月14日(火) | 秋川駅北口・セレホール周辺 | 16名 |
| 第3地区 | 令和5年11月18日(土) | 油平周辺沿道 | 20名 |
| 第4地区 | 令和5年11月18日(土) | 御堂会館周辺沿道 | 22名 |
| 第5地区 | 令和5年10月28日(土) | 武蔵増戸駅に繋がる沿道 | 21名 |
| 第6地区 | 令和5年11月4日(土) | 五日市交流センターから武蔵五日市駅 までの沿道 | 25名 |

(5) 会員の確保と広報活動

会員確保と広報活動については、以下の事業を行った。

| 活動内容 | 内 容 説 明 | 実施回数 |
|------------------------------------|--|------|
| 会員入会申し込み | 60歳以上の入会希望の高齢者に対しセンターの入会資料を事前に渡し、入会を募った。 | 12回 |
| 会報「あきるの」の発行 | 会員及び関連団体に配付。町内会・自治会を通じて回覧、ホームページにも掲載し事業活動の周知を図った。 | 3回 |
| 市広報紙の活用 | 市広報紙に、市民向けに会員募集・刃物研ぎ等の開催の記事を載せ広く市民に周知した。 | 3回 |
| その他PR | 市内6地区で会員による清掃ボランティアを実施、また市主催の「産業祭」に参加しセンター事業のPRに努めた。 | 7回 |
| | 秋川地区、五日市地区のそれぞれの寿大学参加者に対し、会員募集のチラシ配布を行いPRに努めた。 | 各1回 |
| | ホームページに会員募集及び事業活動内容を掲載し、PR活動を行った。 | 常時 |
| | センター所有の車両にPR用のマグネットを貼り、市民への周知を図った。 | 常時 |
| | 市内巡回バスに会員募集の広告看板を設置し、PRに努めた。 | 常時 |
| | 秋川駅上り線ホームに会員募集看板を設置し、PRに努めた。 | 常時 |
| 公共施設等13ヶ所に会員募集・就業募集のチラシを布置しPRに努めた。 | 2回 | |

(6) ふれあい祭り

会員が健康で働けることを市民の皆様にご感謝することとともに、会員の親睦とセンターPR活動をすることを目的に、理事、地区委員等が中心となり、10月15日(日)「ふれあい祭り」を開催した。

当日は雨が降り足元の悪い中、多くの市民の皆様並びに会員が訪れ成功裏に終了した。この事業は、毎年実施することとした。

7 会 議

- (1) 定時総会 令和5年6月16日(金) 秋川キララホール 1回開催
- (2) 常任理事会 12回開催

| | |
|------------------|-------------|
| (3) 理事会 | 1 2回開催 |
| (4) 監査会 | 2回開催 |
| (5) 就業開拓委員会 | 6回開催 |
| (6) 事業委員会 | 6回開催 |
| (7) 広報委員会 | 1 1回開催 |
| (8) 女性委員会 | 4回開催 |
| (9) 安全管理委員会 | 8回開催 (内緊急2) |
| (10) ふれあい祭り実行委員会 | 6回開催 |
| (11) 正副地区長会議 | 2回開催 |
| (12) 地区委員会議 | 1回開催 |

8 事務局

- (1) センターの事業を適正に運営するために、ひいては役員・会員のサポート役を担うべく資質の向上に努めた。
- (2) 第6ブロックの事務局長会、次長会、職員連絡会（業務Ⅰ・業務Ⅱ・庶務経理）、の各会議に出席し、各分野における関連法規、公益法人の運営に関する情報の収集等の研究を行った。
- (3) 財団主催による各種職員研修に参加し、自己能力の研鑽に努めた。
- (4) 事務の効率化を図った。

※ 会員親睦事業

| | | |
|-------------|------------|-------|
| 1 会員親睦ハイキング | 1 1月29日(水) | 15名参加 |
| 2 会員親睦日帰り旅行 | 2月25日(日) | 40名参加 |